

003 洗礼者ヨハネと神の子(ヨハネによる福音書 1:6~13)

▶ヨハネによる福音書 1:6

神から遣わされた一人の人がいた。その名は(洗礼者)ヨハネである。

代理人 Agent ヨハネの役割

- ① 洗礼者ヨハネは、神から派遣された。
- ② 洗礼者ヨハネは、ロゴスの代理人としての使命が与えられていた。

▶ヨハネによる福音書 1:7

彼は証しをするために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じるようになるためである。

He came as a witness to testify concerning that light, so that through him all might believe.

→ヨハネの使命は、光について「証し人」になることである。

John the Baptist < John the Witness (証人、目撃者、連署人)

▶ヨハネによる福音書 1:8

彼は光ではなく、光について証しをするために来た。その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。

▶ヨハネによる福音書 1:10~11

言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。

言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。

→世：コスモス(ギリシア語) 神によって整えられた被造の世界

ヨハネは、「世」を、①「人間が住む地上の世界」と、②「人間」の両方を指している。

▶ヨハネによる福音書 1:12~13 (救いの方法)

しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格(→エクスーシア(ギリシア語):力、特権、資格) を与えた。

この人々は、①血によってではなく、②肉の欲によってではなく、③人の欲によってでもなく、★神によって生まれたのである。